

事業所名

アプリ児童デイサービス鴨居ルーム

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024年

11月

30日

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|----------|---------|----------|-----|----------|---------|---|-----|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 人を想う（個々人が将来的に自分らしく生きられるお手伝いをする） | | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 私たちは「ライフスキルトレーニング」「運動」の柱を基礎に、オリジナル療育プログラム「TanQ-探求-」を実践します。 私たちは、子どもたちが将来、成長して自立した生活を送るために、可能な限り先を見て、必要なことを整え、準備していきます。 | | | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 平日 学校休業日 | 13 10 | 時 30 | 30 30 | 分から | 17 16 | 時 30 | 30 30 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <p>〈ねらい〉①健康状態の維持・改善 ②生活のリズムや生活習慣の形成 ③基本的な生活スキルの獲得</p> <p>〈支援内容〉・定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）、安定した生活リズム ・身だしなみや整え方、トイレトレーニング、衣服の着脱等の日常生活に必ず必要な身辺自立、作業能力、集団参加。 ・コミュニケーション能力などの生活スキルに密着したLST（ライフスキルトレーニング）を実施 ・構造化を意識した部屋の掲示物や支援（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をやるか」をボードなどを使い具体的に表示）</p> | | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <p>〈ねらい〉①姿勢と運動・動作の向上や補佐的手段の活用 ②保有する感覚の総合的活用</p> <p>〈支援内容〉 ・保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援し、感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。「つかむ、つまむ、はる、塗る」等の微細運動を取り入れたプログラム等</p> | | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <p>〈ねらい〉①認知の発達と行動の習得 ②空間・時間、数等の概念形成の習得 ③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p> <p>・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。（音楽に合わせて体を動かす遊びや運動等）</p> | | | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <p>〈ねらい〉①言語の受容と表出・言語の形成と活用 ②コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用 ③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</p> <p>・はじまりの会で今日の気分・気持ちや、終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容する ・自己紹介、他己紹介・考えを発表したり、好きなことをプレゼンテーションする言語 ・ひらがなやカタカナ等の文字の読み書き</p> | | | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <p>〈ねらい〉①他者との関わり ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加</p> <p>・集団での役割分担のある遊びやルールを理解が必要な遊び、集団活動・地域施設などへの社会見学、イベントなどを通じた地域との交流</p> | | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 年齢とともに変化する発達課題や思春期の課題等を乗り越えるため、困り事に寄り添いながら、当所での様子を丁寧に伝えたり、ご家庭での様子を伺うなど情報交換し、ご家族の心配ごとへの助言を行う。また横浜市児童相談所や各区の子ども家庭支援課、学校との強い連携で取り組んでいる（特に被虐待児童） | | | | | 移行支援 | | 小学校低学年から高学年、中学校と成長していくにあたり、年齢とともに変化する課題を明確に支援に当たる。具体的には小中学生は日常生活動作や身辺自立、高等部では就労に向けた作業支援やIADLの獲得、自力通所支援を提供し、成人期のイメージをもって取り組み、就労先には情報提供をおこなっている | | | | |
| 地域支援・地域連携 | | 地域活動センターや行政が管理する地域活動、また地域のお祭りや行事に参加、コンビニや買い物に同行してもらい地域の方々に覚えて頂く活動を通して、こどもの居場所づくりという観点を持ちながら、地域の社会資源を積極的に活用し、遊びや体験、交流の場を広げること。 | | | | | 職員の質の向上 | | 年間計画に基づき各種研修を実施 新卒研修や中途研修はもちろん、各自様々なテーマについてオンライン研修にて受講できる体制あり 県や市・区などが開催する外部研修に積極的に参加 | | | | |
| 主な行事等 | | 4月お花見、自己紹介、5月鯉のぼり見学、こどもの日工作、6月梅雨の工作、室内遊び等、7月七夕、8月夏祭り、カラオケ、9月敬老の日の工作、10月ハロウィン、11月紅葉見学、12月クリスマス、1月お正月、2月節分、3月ひな祭り等 通年行事 お誕生日会、ヨガ | | | | | | | | | | | |